



上川井だより

令和6年2月29日
横浜市立上川井小学校
校長 山崎 真紀子

3月号

自立心

校舎の裏側にある梅の並木が美しい花をつけ、春の訪れを知らせてくれています。

早いもので、今年度も残すところあとわずかとなりました。新型コロナウイルス感染症が5類の扱いとなり、様々な行事や活動が戻った1年でした。子どもたちにとって、校外学習や他校とのふれあい活動もでき、充実した毎日でもありました。

この1年間、6年生は、5年生とともに、学校をよりよくしていこうと話し合い、全校にたくさん働きかけをしてきていました。みんながもっと互いを知り合い、仲良くなるのがよいのではないかと、交流するだけでなく、一緒に何かにチャレンジすることで絆が深まるのではないかと考え、「GO!GO!チャレンジ上川井」をテーマにマンスリーミッションを提案し、実践してきました。なるべく多くの人とかかわりをもつことを目標に相手を探してじゃんけんし、サインをもらう「じゃんけんミッション」、なかよし班のみんなで協力して集めた得点を競う「ベルマークチャレンジ」、協力して記録に挑む「長縄チャレンジ」、自分で決めた目標に1か月取り組む「チャレンジの花を咲かせよう」など、ユニークな発想のミッションがたくさんありました。内容を決め、提案し、進めていくのも子どもたちです。一見当たり前のように、学校全体のことを考えて提案し、下級生をリードしながら実行するということは、子どもたちにとって簡単ではありません。6年生の一人一人がリーダーとなり、5年生とともに自分の役割を果たしながら進んできた1年でした。6年生の学級目標 “プランZ 学校を作れ大作戦” に表されたその意気込みの中に、「高学年になったら学校全体のことを考え、進んで動くのだ」という姿勢が感じられ頼もしく思いました。

上川井小では、子どもたちの「知りたい」「やりたい」「伝えたい」という気持ちを引き出し、教える・指示するという教育から、学びへの姿勢を促し支える教育へ変わろうと努めてきました。そうした取り組みが少しずつ子どもたちの姿に表れてきたのであれば、これほど嬉しいことはありません。小学校での6年間を通して、自分たちで考え、選び、実行する力・自立心が育つよう、これからも努めてまいりたいと思います。

支えてきてくださった保護者の皆様、地域の皆様の温かいご理解・ご協力に感謝申し上げます。

今後とも本校への変わらぬご支援をどうぞよろしくお願いいたします。